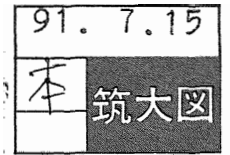


筑波社会科学研究

第 8 号



梶哲夫教授・横山十四男教授退官記念号

退官にあたって	梶 哲夫 (1)
退官にあつて	横山十四男 (7)
【研究論文】	
社会的判断力の意味	岩瀬 弘一 (12)
地図教育における方位指導上の問題	牧野 誠照 (21)
現代高校生の意識に関する事例的研究 — トラッキング理論の視点より —	菱山 謙二他 (37)
今井誉次郎における綴り教育論についての一考察 — 初期の社会科教育論との関係において —	木村 勝彦 (48)
【研究ノート】	
テキストデータ処理用プログラムの開発	松本 康 (58)
【実践報告】	
異文化理解のための総合学習	伊藤 純郎 (65)
【研究会報告】	
5月例会	篠原昭雄・橋本克己 (74)
10月例会	小嶋孝・堀井登志喜 (80)
【書評】	
JCEE・F. サンダース他著『経済を学ぶ・経済を教える』	栗原 久 (82)
谷川彰英『柳田国男と社会科教育』	森茂 岳雄 (84)
【梶哲夫教授・横山十四男教授の御退官にあたって】	
心から感謝をこめて	篠原 昭雄 (88)
梶 哲夫教授 略歴・主要業績一覧	(90)
横山十四男教授略歴・主要業績一覧	(95)
【学会彙報】	
昭和63年度学会活動報告	(98)
教育研究科62年度 修士論文一覧	(99)

筑波大学社会科教育学会

1 9 8 9

筑波大学社会科学教育学会会則

- 第 1 条(名 称) 本会は筑波大学社会科学教育学会と称する。
- 第 2 条(目 的) 本会は社会科学教育に関する研究を行い、あわせて会員相互の連絡をはかることを目的とする。
- 第 3 条(活 動) 本会は前条の目的を達成するために、次の活動を行う。
1. 研究会の開催
 2. 機関誌の発行
 3. 資料の収集・交換
 4. その他必要と認められるもの
- 第 4 条(会 員) 本会の会員は、筑波大学の出身者および本会の趣旨に賛同する者で、所定の会費を納入した者とする。
2. 本会に賛助会員をおくことができる。賛助会員は、会の趣旨に賛同し、賛助会費を納める者とする。
- 第 5 条(本 部) 本会の本部は、筑波大学教育学系社会科学教育学研究室におく。
- 第 6 条(役 員) 本会は次の役員をおく。
- 会 長 1 名 副会長 1 名 評議員 若干名
幹 事 若干名 会計監査 2 名
2. 評議員および会計監査は総会において選出する。
 3. 会長および副会長は評議員会で選出する。
 4. 幹事は総会の承認を得て、会長が委嘱する。
 5. 役員の任期は2年とする。ただし再選を妨げない。
- 第 7 条(役員の任務) 会長は本会を代表し、会務を統括する。
2. 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。
 3. 評議員は評議員会を構成し、重要な会務を運営する。
 4. 幹事は幹事会を構成し、会長をたすけて会務を運営する。
 5. 会計監査は、本会の会計を監査する。
- 第 8 条(顧 問) 本会には顧問をおくことができる。顧問は総会の承認を得て会長が委嘱する。
- 第 9 条(会 議) 本会の会議は、総会、評議員会および幹事会とする。
2. 総会は毎年1回会長が招集し、会員の過半数の出席によって成立する。ただし、会員は委任状をもって議決権を他の会員に委任することができる。
 3. 必要ある場合、会長は臨時総会を招集することができる。
 4. 総会の議決決定は、出席会員の過半数をもって行う。
 5. 評議員会は、会長、副会長、評議員をもって構成し、会長の招集によって重要な会務を審議する。
 6. 幹事会は会長が招集する。
- 第 10 条(会 計) 本会の経費は、会費、寄付金、その他をもってこれに充てる。
2. 本会の会費は総会で定める。
 3. 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日までとする。
- 第 11 条(会則の改正) 会則の改正は、総会の議を経なければならない。
- 付 則 この会則は昭和57年2月11日から施行する。

昭和63年度役員

会 長 横山十四男（筑波大学教育学系）
 副会長 岩崎宏之（筑波大学歴史・人類学系）
 評議員 朝倉隆太郎（上越教育大学），石川裕之（長野・飯田高），飯島睦子（東京・今川中），大森 正（東洋大学），梶 哲夫（筑波大学），金子 巧（広島・舟入高），後藤忠司（兵庫・須磨反ヶ丘高），小森正明（宮内庁），斉藤宏夫（栃木・小山高），高山次嘉（新潟大学），竹下裕隆（愛知・豊田高），谷川彰英（筑波大学），長瀬 守（宇都宮大学），二谷貞夫（上越教育大学），平岡可奈之（神奈川・桐蔭学園），藤沢 健（岩手・岩手高），古山良平（東京学芸大学附属高），別府淳夫（筑波大学），三浦軍三（東京学芸大学）
 会計監査 田中通彦（筑波大学），三野輪敦（茨城・茗溪学園中・高）
 幹 事 大森 正，梶 哲夫，上笹 恒，谷川彰英，西沢利栄，菱山謙二，別府淳夫，松本 敏，伊藤純郎，小森正明，永野広務，古山良平，谷田部玲生，木村勝彦，木村健一郎，溜池善裕，松岡尚敏，松本 康

「筑波社会科研究」編集委員 梶 哲夫，渋沢文隆，森茂岳雄，松本 敏，
 宮園 衛，藤井千春，松岡尚敏，木村勝彦，
 松本 康，木村健一郎，溜池善裕

＜ 編 集 規 定 ＞

- (1) 本誌は筑波大学社会科教育学会の機関誌であり、年一回発行する。
- (2) 本誌は本学会会員の研究論文、研究ノート、書評、研究会報告、学会彙報、その他会員の研究活動に関する記事を掲載する。
- (3) 本誌に論文その他を掲載しようとする会員は、所定の執筆要領に従い「編集委員会」宛に送付する。
- (4) 原稿の掲載は編集委員会の審議を経て決定する。
- (5) 掲載予定の原稿について、編集委員会は執筆者との協議を通じ、内容に変更を求めることがある。
- (6) 本誌に掲載された論文その他は原則として返還しない。
- (7) 執筆者による校正は第一校までとし、再校以後は原則として編集委員会の責任において行う。

＜ 執 筆 要 領 ＞

- (1) 論文原稿は未発表のものに限る。(ただし、口頭発表、プリントの場合はこの限りではない。)
- (2) 編集委員会が特に枚数を指定する以外の原稿は、図・表などを含めて、原則として研究論文が400字詰原稿用紙30枚以内、研究ノートが15枚以内、実践報告が20枚以内、書評が5枚以内とする。
- (3) 原稿は、400字詰横書きとする。ワープロ原稿の場合、43字×31行または40字×30行横書きとする。
- (4) 原稿には、必ず英文タイトルを添付する。
- (5) 原稿には、氏名（フリガナ）、所属（職名その他を含む）、連絡先を付記し、筑波大学社会科教育学会「筑波社会科研究」編集委員会宛に送付するものとする。
- (6) 図版等で特定の費用を要する場合、執筆者に負担させることがある。
- (7) 原稿〆切は毎年9月30日、発行は翌年2月11日とする。

筑波社会科研究 第8号

平成元年2月11日 印刷・発行

編 集 「筑波社会科研究」編集委員会

代表者 梶 哲 夫

発 行 筑波大学社会科教育学会

会 長 横 山 十四男

事務局 茨城県つくば天王台1-1-1 (〒305)

筑波大学教育学系 社会科教育学研究室

TEL 0298-53-6822, 6729～31

印 刷 甲 文 堂

東京都文京区大塚1-4-7 (〒112)

TEL 03-947-0844

TSUKUBA ANNALS
FOR
SOCIAL STUDIES EDUCATION
No.8 1989

CONTENTS

On My Retirement.	Tetsuo KAJI	(1)
On My Retirement.	Toshio YOKOYAMA	(7)

Articles

The Meaning of Social Judgement.	Kōichi IWASE	(12)
Teaching Map Directions.	Jōshō MAKINO	(21)
A Case Study of Contemporary High School Students' Consciousness — From the View Point of the Tracking Theory —	Kenji HISHIYAMA, Yasuhiko KIMURA, Akira NAKAGAMI, Tetsu MATSUDA	(37)
A Study of Takajiro Imai's Theory of "Tsuzurikata Kyōiku"	Katsuhiko KIMURA	(48)

Research Notes

A Development of Computer Programs for Processing Text-Data	Yasushi MATSUMOTO	(58)
--	-----------------------------	------

Reports of Practice

A New Approach to Cross-cultural Understanding	Junrō ITŌ	(65)
--	---------------------	------

Research Conferences

Research Conference in May	Akio SHINOHARA, Katsumi HASHIMOTO	(74)
Research Conference in October.	Toshiki HORII, Takashi KOJIMA	(80)

Book Reviews

JCEE, Philip Saunders et al., A Framework for Teaching the Basic Concepts, Second Edition	Hisashi KURIHARA	(82)
Akihide TANIKAWA: Kunio Yanagita and Social Studies	Takeo MORIMO	(84)

Recollecting of Our Retiring Colleagues

Memorial Note	Akio SHINOHARA	(88)
Academic Career and Achievements of Prof. Tetsuo KAJI.		(90)
Academic Career and Achievements of Prof. Toshio YOKOYAMA		(95)

Academic News

Academic Activities of the Association for the Social Education in 1988		(98)
Title of Master Thesis Submitted by Graduates Students of Social Studies Course, Master's Program of Education in 1987.		(99)